

令和 7 年度病床機能再編支援事業の事業計画について
(石巻・登米・気仙沼区域)

1 趣旨

地域医療構想の実現を図る観点から、地域医療構想調整会議の議論の内容及び宮城県医療審議会の意見を踏まえて行う自主的な病床削減や、統合による病床廃止に取り組む際の財政支援について、次のとおり令和 7 年度事業として実施するもの。

2 事業区分及び事業活用予定の医療機関等

事業区分	支援の概要	令和 7 年度活用予定の（代表）医療機関（石巻・登米・気仙沼区域）
単独支援給付金支給事業	病床数の減少を伴う病床機能再編に関する計画を作成した医療機関（統合により廃止する場合も含む）に対し、減少する病床 1 床当たり、病床稼働率に応じた額を支給するもの。	該当医療機関なし
統合支援給付金支給事業	統合（廃止病院あり）に伴い病床数を減少する場合のコスト等に充当するため、統合計画に参加する医療機関（統合関係医療機関）全体で減少する病床 1 床当たり、病床稼働率に応じた額を支給するもの。	気仙沼市立病院
債務整理支援給付金支給事業	統合（廃止病院あり）に伴い病床数を減少する場合において、廃止される医療機関の残債を統合後に残る医療機関に承継させる場合、当該引継債務に発生する利子について一定の上限を設けて統合後医療機関へ支給するもの。	該当医療機関なし

※ 給付金事業の詳細は、「別添参考資料 2」（病床機能再編支援補助金について）のとおり

3 事業計画の内容

種別	医療機関名	統合後の状況	診療科	病床稼働率	病床削減前※の稼働病床数(A)		病床削減後の許可病床数(B)		削減病床数(A)-(B)		病床削減に係る方針・考え方
統合する医療機関	気仙沼市立病院	存続	内科／呼吸器内科／消化器内科／循環器内科／小児科／心療内科／外科／整形外科／形成外科／脳神経外科／皮膚科／泌尿器科／産婦人科／眼科／耳鼻咽喉科／リハビリテーション科／放射線科／麻酔科／歯科口腔外科／病理診断科	71.3% (R4実績)	急性期	288	急性期	238	急性期	50	気仙沼市病院事業は、令和5年度まで気仙沼市立病院（以下、市立病院という。）と気仙沼市立本吉病院（以下、本吉病院という。）の2病院を運営しており、市立病院は感染症指定医療機関や災害拠点病院、地域周産期母子医療センターの指定を受け、地域住民が安心して暮らしていくための重要な医療の中心的な機能・役割を担い、本吉病院は総合診療医が中心となって、在宅患者の急性増悪に対する入院対応、本吉地域のかかりつけ医としての外来診療、病院への受診が困難な患者に対する在宅医療といった、患者の状態に合わせた生活を支える医療を提供していました。 しかしながら、気仙沼市において、人口減少に伴う働き手不足が深刻化する中で、医療従事者の確保や医師の働き方改革に対応し、持続可能な地域医療提供体制を確保するには、限られた医療資源を地域全体で最大限効率的に活用できるよう施設機能や医療従事者の集約化を図る必要が生じたため、地域医療構想に即した病床機能の再編を踏まえ、市立2病院のあり方について検討を進めました。 その結果、令和5年度末、市立病院に「地域包括ケア病棟」を設け、本吉病院の入院機能を集約するとともに、本吉病院は、令和6年4月1日より「市立病院附属本吉医院（無床診療所）」として、外来診療と在宅医療の提供を継続しています。
					回復期	48	回復期	98	回復期	▲50	
					合計	336	合計	336	合計	0	
統合される医療機関	気仙沼市立本吉病院	廃止（無床診療所化）	内科／小児科／外科／整形外科／精神科	70.9% (R4実績)	急性期	0	急性期	0	急性期	0	
					回復期	29	回復期	0	回復期	29	
					合計	29	合計	0	合計	29	
			合計病床数		急性期	288	急性期	238	急性期	50	
					回復期	77	回復期	98	回復期	▲21	
					合計	365	合計	336	合計(給付対象)	29	

※ 平成 30 年度病床機能報告と令和 2 年 4 月 1 日時点の対象 3 区分の稼働病床数を比較して、少ない方を基準とする。